

公開シンポジウム 教育のなかの多文化共生

2010年10月30日(土) 13:30~17:00

慶應義塾大学三田校舎 南館 遠隔教育(LD)教室
(構内側入口より地下4F)

グローバル化とともに国内で暮らす外国人は急増している。一方で、在日の権利の保障がさまざまに問われており、また政府はアイヌ民族を先住民族と認めることを検討している。しかし長らく単一民族国家の幻想にとらわれていた日本で多文化共生の視点の政策はまだ不十分と言わざるを得ない。
このシンポジウムは、教育に関係する分野の多文化共生に焦点をあてて、それぞれにおいてどのような課題があるかを、一般参加者と共に考えたい。

主催：日本学術会議地域研究委員会多文化共生分科会

共催：大阪大学グローバルコラボレーションセンター

慶應義塾大学グローバルCOE「市民社会におけるガバナンスの教育研究拠点」

開会挨拶：油井大三郎（日本学術会議会員・地域研究委員会委員長、東京女子大学教授）

講演：宮島 喬（日本学術会議連携会員、法政大学教授）「外国人の子どもの教育を受ける権利と多文化の保障」

朴 一（大阪市立大学教授）「外国人学校と多文化共生」

本多俊和（日本学術会議連携会員、放送大学教授）「社会科教科書の記述から」

榎井 縁（とよなか国際交流協会）「多文化共生教育の経験から」

コメンテータ：小長谷有紀（日本学術会議連携会員、国立民族学博物館教授）

関根政美（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学教授）

閉会挨拶：山本眞鳥（日本学術会議会員、多文化共生分科会委員長、法政大学教授）

司会：栗本英世（日本学術会議連携会員、大阪大学教授）

窪田幸子（日本学術会議連携会員、神戸大学教授）

参加方法：どなたでも参加できますが、事前登録をお願いします。

氏名・所属・連絡先電話番号・E-mailをご記入のうえ、E-mailかファックスでお送りください。

E-mail: tabunkakyosei2010@gmail.com Fax: 042-783-2611